

地域の実情と課題

本市の女性就業率は国平均より低く、いわゆる「M字カーブ」が深い状況だ。R2年度実施の市民調査では、男女ともに固定的性別役割分担意識が根強く、回答半数以上の女性が「女性だから生きにくい」と感じている。男性型就労形態が長く続いたことにより、社会・経済活動における女性活躍のモデルが見えにくい傾向にある。

事業の特徴

1 課題に対応した事業を実施

社会参画意欲を高めるリカレント教育と専門性の高い就業支援講座をコアに、女性が個々の希望に沿った活躍をするための機会創出を図った。

2 官民連携体制の構築

- (1) 地元大学等：講師派遣、講座企画立案協力
- (2) 民間事業者：講師派遣、情報提供、調査協力ほか

事業の効果

1 事業KPI: 講座受講者数 70人(実績: 105人)

就業に役立つ学びの場や有益な情報を提供し、参加者の意欲向上とキャリアパスの形成を支援できた。

2 ロールモデルで次世代の意欲を刺激

講座の概要をSNS等で発信することで、受講者の姿を新たなロールモデルとして、次の対象者の興味関心を引き出すようなサイクルを作ることができた。

目的・目標

○就業への資質向上、能力開発機会の充実

○希望する職種への就業機会の拡充

【目標】

- 1 「自分の条件に合う仕事が見つからない」等の理由で仕事をしていない女性の割合。(15%) (R7年度調査予定)
- 2 講座受講者数(70人)

連携団体

1 地元企業等

委員推薦及び就業に関する調査協力

2 いばらき就職支援センター

雇用情報及び研修機会の提供

3 各種団体、大学

事業実施に関する広報及び企画立案協力、講師推薦協力

今後の課題

1 就業支援の充実

実践的な経験が就業促進に効果的であるため、産学官連携によるマッチングプログラムの構築が必要。

2 学習支援の充実

オンラインによる学習支援は好評であったものの、対面と比べてワークに参加しにくいなどの課題が見えたため、学びを中断させない良質なサポートが必要。



女性の就業支援事業

希望する働き方への可能性を広げるための各種講座を開催

① 日立版リコチャレロールモデル講座

概要：市内中学生を対象に、市内事業者の協力のもと、理工系分野の仕事に係る体験講座を実施。

講座実施回数：1回講座 参加者数：7人

② 女性の就業支援講座

概要：子どもに関連する仕事に興味がある女性を対象に、仕事に役立つ座学と実技及び施設見学を実施。

講座実施回数：4回連続講座 参加者数：14人(延べ35人)

③ リカレント教育実施体制構築

概要：企画会議を設置し、女性の学び直しに関する講座の企画立案及び講座を実施。

講座実施回数：6回連続講座 参加者数：22人(延べ101人)

①日立版リコチャレ



②女性の就業支援



③リカレント教育



女性デジタル人材育成講座(交付金事業②)

各種事業との連携



【連携先】

地元大学、日立公共職業安定所、日立商工会議所 ほか

就業支援に関する講座

- ① 資格取得準備講座
ファイナンシャル・プランナー3級
- ② 仕事に役立つ講座
アサーティブコミュニケーション基礎
- ③ 創業塾2024

女性センター指定管理者

日立市らぼーる協会提供事業

女性人材育成講座

女性を対象とした資質向上につながる講座や研修会を開催

- ① 1day女性カレッジ
- ② ロールモデル講座

<女性の社会参画がすすむと...>

女性の就業専門資格取得補助

女性のステップアップを支援

出産・育児

一度離職すると再就職が難しい

資格取得

保育士、宅地建物取引士等就職に直結する資格取得

再就職

経済的自立

教習・受験費用の50%補助
(限度額10万円)

様々な制約を持つ女性が社会に加わることで、新たな視点や発想が加わり、多様な人材が活躍できる働き方が生まれる